

別表1

教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアポートビジネス科エアカーゴコース)									
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
○			総合学習 I	「自律」をテーマに自ら考え行動出来る力を総合的に学ぶ時間として設定する。	1通	136	○		△
○			パソコン演習 I	PC操作の基本 ワード及びエクセルの基本操作を身に付ける事を目的とし、実践的なトレーニングを実施する。	1通	90	△	○	
○			沖縄観光	沖縄の観光地について学び、また見聞・体験を通して、歴史・文化や暮らしを理解し、観光業発展つなげる。	1前	32	○		△
○			志学 I	教育理念と学生行動指針に沿い、行動の仕方、心の持ち方、あるべき姿を深く学び考え、社会から必要とされ続ける“人財”となるべく基本的思考、行動習慣を身につけていく。	1前	26	○		
○			ビジネスマナー	企業現場で必要となる、ビジネスマナー・敬語・働く姿勢・心構えのほか、一般教養や社会的常識、社会制度などの知識も習得する。	1前	28	○	△	
○			エアライン実務	航空会社の業務について、旅客部門、搭降載部門についての基礎を学ぶ。空港コードや専門用語、航空法に基づく搭乗や手荷物に関する規則を習得する。	1前	44	○	△	
○			実用英語 I	英検3級程度の英語力と、航空業界で使用されている英語記載のマニュアルや実務上必要な英語力を高める。英検やTOEICの受験を通して、基礎をしっかりと身につける。	1前	78	○	△	
○			国内地理	全国都道府県の県庁所在地や各地域の空港情報、また世界遺産、文化、伝統、郷土料理等観光に関する知識を習得する。	1通	38	○	△	
○			通関・貿易実務(基礎)	通関及び貿易の流れを基礎から学び、また、輸出入手続きに必要な知識、関税算出方法、それに関する法律を学習する。	1前	26	○	△	
○			IATAディプロマ(基礎)	国際航空における貨物輸送について、時刻表の見方、使用機材の種類と特徴、運賃計算、航空危険物の該当有無などを理解し、航空貨物輸送を実践的に学ぶ。	1前	164	○	△	
○			一般学力(国語・数学・時事)	高校卒業レベルの国語、数学、社会科目の復習を行う。専門知識の習得、検定試験や就職採用試験合格の基礎となる基礎学力強化を図る。	1通	50	○	△	

別表1

教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアポートビジネス科エアカーゴコース)									
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
○			通関・貿易実習	輸出入通関実習に向けて輸出入に関する基礎知識の他、通関手続きに必要な書類の知識、作成方法を演習し、実習の準備を整える。	1後	20	△		○
○			貿易実務	貿易業界に必要とされるマーケティング力、輸送機関の選定や手配、通関の知識、外国為替の知識、海上貨物保険その他各種保険の知識など幅広く習得する。	1通	112	○	△	
○			県外空港・港湾見学研修	羽田、成田空港や横浜港湾施設での現場見学を通して、目指す業界の実務を学び、就職活動につなげる。	1後	32	△		○
○			実用英語 I	英検3級程度の英語力と、航空業界で使用されている英語記載のマニュアルや実務上必要な英語力を高める。英検やTOEICの受験を通して、基礎をしっかりと身につける。	1通	60	○	△	
○			貿易英語	貿易で使用される、様々な種類の英文ビジネス文書の表現と書式の構成を理解し、文書の内容を和訳できるようにする。	1後	34	○	△	
○			英会話 I	グローバルな仕事である貿易(輸出・輸入業)業界にて業務上必要となる英会話の基礎と感覚を身につけ実際に簡単な英会話ができるようになる。	1通	18	○	△	
1年次合計				単位時間	988 時間				

別表1

教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアポートビジネス科エアカーゴコース)				授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		
分類	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
○				総合学習Ⅱ	「自律」から「自立」をテーマに自ら考え、またいろいろなことに、チャレンジ精神を持って臨むことができるよう総合的に学ぶ時間として設定する。	2通	68	○		△
○				志学Ⅱ	何のために“生きるのか”“学ぶのか”“働くのか”を、社会との繋がりの中で自身の生きる姿勢や志について考え、将来の「やりがい」に繋がることを見出し、準備をする。	2前	26	○		
○				パソコン演習Ⅱ	1年次で習得したパソコン技能を土台として、パソコン検定のさらに上位級取得を目指す。併せて、企業現場で頻繁に活用される技能を習得する。	2通	72	△	○	
○				通関法令(通関業法)	通関業法については、通関業の目的や許可条件、また通関業を営む上で必要な資質等について学び、通関士試験で6割以上の点数取得を目指す。	2前	46	○	△	
○				通関法令(関税法・他法令)	関税法については、貨物の輸出入に関する規則、保税地域の役割等、その他の法令では主に外為法に関税に関する知識を習得し、通関士試験で6割以上の点数取得を目指す。	2前	72	○	△	
○				通関法令(関税定率法)	関税定率法については、主に減・免税や課税価格の算出方法、関税額の計算を重点的に学び、通関士試験で6割以上の点数取得を目指す。	2前	46	○	△	
○				通関実務	輸出入通関時に必要となる申告書の作成ができるよう、実行関税率表の使い方、関税額の計算方法など実務に関することを実践的に学ぶ。	2前	230	○	△	
	○	選1		総合学習Ⅱ	「自律」から「自立」をテーマに自ら考え、またいろいろなことに、チャレンジ精神を持って臨むことができるよう総合的に学ぶ時間として設定する。	2後	324	○		△
	○	選2		入社前実習	講義等で得た知識を実践の場で体験を行う事を目的とする。就職を意識し企業観察を同時に行い、就職後イメージした研修を実施する。	2後	324			○
2年次合計					単位時間		884	時間		

※ 選1若しくは選2を選択

合計 26 科目	単位時間	1,872 時間
----------	------	----------